



End of Lease Options Guide

リース終了時のオプションガイド

リース終了時の通知	2
リースの更新	2
機器の購入	2
機器の返却	2
パスワードおよび機密データの削除	3
「通常の消耗」と見なされるもの	3
機器の梱包	4
機器の発送	5
お客様からの質問に対する答え	5
連絡先	5

HP ファイナンシャルサービス (HPFS) では、リース終了時の対応について、お客様の十分なお理解をいただくために本ガイドを作成しました。お客様に処理していただきたいこと、およびオプションについて詳しくご紹介させていただきますので、ご一読のうえぜひお役立てください。

リース終了時のオプション

HPFS は、リース終了日の約 120 日前に、リース終了 (EOL) オプションに関する通知をお客様に送付します。

少なくともリース終了日の 90 日前までに、リース契約に基づいて、再リース、返却、または買い取りについて、お客様のご意思を書面により HPFS にご通知いただく必要があります。この通知は、リース契約の中で規定されている期間終了時の通知義務に基づいており、これらのご通知をいただけない場合は、継続してレンタル料金が請求される可能性があります。

何通りかの対応 (資産の一部を更新、または返却、あるいは買い取りなど) が必要な場合には、HPFS がお客様のために資産リストを用意しますので、お客様は、それぞれの資産に対して必要な対応方法にマークを付け、日付を選択してください。

次のオプションが選択できます。

満了後の月極め同額料金 (UPM)

・新しいコンピュータ機器の導入やその設置日が未確定の場合や、終了時の対応を最終決定していない場合にご利用いただけます。

最短 3 か月の再リース

・お客様のご希望に沿った再リース期間を設定することにより、レンタル料金を月極めの UPM より低額にすることができます。

適正な市場価格 (FMV) での機器の買い取り

リース満了日に機器を返却

当初のリース終了日、または再リースの終了日に、リース終了機器のすべてまたはその一部を返却することができます。返却されなかった機器については、リースを継続するものと見なされます。

* HPFS が EOL 通知の送付を怠ったとしても、賃借者側に通知に関する義務を果たす責任がなくなるわけではありません。

EOL 時の決定支援

EOL 時のご質問につきましては、すべて HPFS ファイナンシャルアカウントマネージャーにお問い合わせください。

リースの更新 (再リース)

リースの更新 (再リース) を希望される場合は、HPFS は延長期間とリース料を確認します。月極めの UPM を選択した場合は、MLA に概要が述べられている既存の条項が適用されます。延長期間が確定している場合は、新しい再リース契約書をお送りいたしますので、内容をご確認の上、ご署名ください。

機器の買い取り

買い取られる機器が決まり、価格が決定されると、HPFS は、支払い完了時にお客様に移管される機器を示した請求書明細をお渡しします。

機器の返却

リースの終了時には、お客様のリーススケジュールに従って、すべての機器を返却 (お客様が再リースまたは買い取ったものを除く) する必要があります。返却品目は、このガイドの「機器の梱包」でご紹介しています概要に従って梱包してください。リストに記載されている品目において、欠品、損傷、または故障した品目があった場合の補償は、お客様のご負担となります。

パスワードおよび機密データの削除

すべてのパスワードは、返却前に削除される必要があります(電源オン、管理、BIOS、またはハードディスク等)。コンピュータがパスワードで保護されているとマシンは使用不能となります。HPFS がパスワードをオーバーライドまたはリセットできない場合は、お客様のご負担で補償いただくことになります。

ハードディスク上の機密データは、返却前にお客さまの責任において必ず削除してください。

付属品もそのリース機器と共に返却する必要があります。

ノートブック

電源コード
AC アダプター
バッテリー
フロッピードライブベゼル
カバー
背面接続ドア
ドッキングステーションと鍵

サーバ

電源コード
キーボード
マウス
取付け台
鍵

ケーブル

モニター

電源コード
傾斜/回転スタンド
信号ケーブル

上述のリストにある品目がすべてではありません。ユーザーズマニュアル、インストールガイド、テクニカルリファレンスガイド、および他の文書など、PC に同梱されていたすべての付属物、およびソフトウェアすべてを、元の PC と同じ箱に入れて返却してください。

許容される「通常の消耗」

HPFS は、お客様にリースした機器には若干の擦れや傷が残ることを認めており、それらを通常の消耗と見なしています。使用する間に劣化するのとは当然のことです。しかし機器は、返却時に正常に作動する必要があり、問題がある場合は修理または交換の費用をお客様が負担することになります。製造者の保証または保守契約 (適用される場合) の対象となるすべての不良や損傷は、ユニットの返却前に修理してください。

欠落、損傷、または不良のある品目に対する費用は、FMV を上限とする交換費用になります。たとえば、FMV が \$600 のノートブックを返却するときにディスプレイにひび割れがあれば、修理費は \$750 になりますが、請求される額は \$600 です。一方、ノートブックの FMV が \$1500 の場合は、ディスプレイの修理費として \$750 が請求されます。修理が必要な場合でも、資産の適正価値を超える費用を請求されることはありません。

通常の消耗と見なされる例：

- ・ モニター画面上の軽微な擦り傷
- ・ キーボードのキー名の色あせ
- ・ カバーまたはベースの若干の擦り傷
- ・ ロゴの磨耗
- ・ ステッカーやラベルの剥がれ

デスクトップ

電源コード
キーボード
マウス
ペDESTAL/ミニタワーベース
鍵
ケーブル
マイクロホン
プリンター
電源コード
ケーブル (パラレル/シリアル/USB)
用紙トレイ
用紙送り装置
トナーカートリッジ (必ずプリンターから取り出し、別々に発送)

通常の消耗と見なされない例：

- ・ ふた、フレーム、またはケースのひび割れ
- ・ ヒンジまたはラッチが破損してきちんと閉じない
- ・ サスペンス状態から再起動時の障害
- ・ コントロールパネルのドアの欠落または損傷
- ・ 放電されたバッテリー
- ・ 剥がすことのできないステッカー/ラベル (エポキシ)
- ・ モニター画面のひび割れまたは重度の擦り傷
- ・ CRT イメージ焼きつき (下の定義を参照のこと)
- ・ 電源が入らないか画像が表示されない
- ・ LCD 上のスティックマウス焼きつき

注記：画面の焼き付きは、ブラウン管のリンコーティングへの表面的な焼跡です。固定画像や一連の文字を長時間にわたり画面に連続表示することによって生じます。一度生じた焼き付きは修理することができませんが、電源がオンのときには機器の操作を続け、中断する場合にはスクリーンセーバーなどを活用すれば、焼き付きを防止することが可能です。CRT の焼き付き状態は十分に回避可能なので、通常の消耗状態とは見なされません。

機器の梱包

ラベル付け

リース機器返却時のトラブルのほとんどは、誤ったラベル付けやラベルが付いていないことによって生じています。ラベル付けや通知の方法に誤りがあると、返却後もリース料の請求が継続して行われたりするなど、問題を生じる可能性があります。

こうした問題を避けるための最善の対策は、貨物輸送の明細や小包の発送票に以下の情報を記載して、各返却機器を正しく識別できるようにすることです。

- ・ 会社名
- ・ HPFS 契約番号
- ・ 返却先住所
- ・ 連絡先名
- ・ 連絡先電話番号
- ・ 返却認可番号 (RAN)

機器が HPFS 指定の倉庫に到着するまでは、紛失または損傷に対する責任はおお客様の側にありますが、機器を適正に梱包することにより、輸送中に損傷を受ける危険性を抑えることができます。以下のガイドラインに従って梱包してください。通常は、ユニットと箱の側面の間に 3 ~ 4 インチ程度の余裕がある大きめの箱を用意します。お客様から返却の意向をお受けすると、HPFS ではお客様に機器返却ラベルをお渡します。マシンのモデル名やシリアル番号を記載したラベルは、それぞれの箱の側面にセロハンテープで貼付してください。ラベルがしっかり貼り付けられ、発送中や仕分けのときに剥がれ落ちることのないようにします。

システムユニット

システムユニットをプラスチック製の袋に入れます。テープで封止します。

発泡ラップでユニットを包みます。発泡ラップをテープで止めます。

ユニットを段ボール箱に入れます。

発泡ラップでキーボードを包みます。テープで封止します。

ユニット、キーボード、電源コード、およびマウスを箱に入れます。

箱をテープで封止します。

ノートブック

ノートブックを発泡ラップで二重に包みます。

テープで止めます。

箱に入れます。積み重ねることができるユニットの台数は 3 台までです。

補助ユニット (A/C アダプターなど) を発泡ラップで包み、ノートブックと一緒に箱に入れます。

テープで箱を止めます。

モニター

発泡ラップでモニターを包みます。

画面を箱の 1 つの面に向けた状態でモニターを箱に入れます。

モニター画面の側に余分の発泡ラップを当てます。

電源コードと信号ケーブルを追加します。

箱をテープで封止します。

プリンター

トナーカートリッジを取り外し、プラスチック製の袋に入れます。

テープで袋を封止します。

取り外し可能な用紙処理装置を発泡ラップで包みます。

用紙送り装置 (付属している場合) をテープで固定します。

プリンターをプラスチック製の袋に入れ、テープで封止します。

緩衝用の発泡スチロールを箱に入れ、プリンター、トナーカートリッジ、および用紙処理装置を箱に入れます。
箱をテープで封止します。

機器の発送

機器の返却にあたっては、特に運送会社を指定してはおりませんが、荷物に保険をかけることが可能な、信頼できる運送会社にご依頼ください。お客様の責任において機器を確実に返却していただく必要があります（契約約款）。機器に損傷があったり欠品したりしていますと修理費用が請求されますので、必ず保険に入ってください。翌日配送を利用する場合は、指定された梱包およびラベル付け要件を必ず守ってください。指定された場所に届くまでは、お客様の責任です。

お客様からの質問に対する答え

リース機器は元の梱包材に入れて返却する必要がありますか。

いいえ、リース機器を元の梱包材に入れて返却する必要はありません。

ただし、リース機器は慎重に梱包し、輸送中に損傷を受けないように保護する必要があります。箱のサイズが合う場合は、交換機器の梱包材を使用することもできます。

少数のマシンを返却する場合は、どんな方法が最善ですか。

20台未満のマシンの場合は、翌日配送を利用すれば費用を節約できます。この場合も、梱包に関する指示に従って損傷することのないようにしてください。それぞれの箱の外側には、機器返却ラベル（マシンの型式/モデル部品番号/シリアル番号/RAN）を貼付してください。

リース機器の一部をなくしてしまった場合はどうなりますか。

Hewlett-Packard ファイナンシャルサービスは、リース資産を個別に扱います。したがって、お客様の資産構成の合計費用を変更することなく、資産の一部を返却、延長、または買取することができ、他にオプションはありません。資産を見つけることができない場合は、その特定の資産を FMV で買い取ることになります。

リースしたノートブックは保証修理の一環として新しいノートブックと交換されました。この場合は、リース期間終了時の返却方法に違いが生じますか。

ご使用のノートブックが新しいシリアル番号で交換されている場合は、修理の際に HPFS に連絡するよう求められています。これにより HPFS は、お客様の記録を更新し、個人的な固定資産税の返却があれば適正に処理することができます。また、リース終了時の混乱も避けることができます。

連絡先

日本 HP ファイナンシャルサービス株式会社 業務部 T E L : 042-352-5690

注記：このガイドで記述されている契約条項および手法は、HP ファイナンシャルサービスの標準契約約款に基づいています。

© 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P. ここに記載された内容は、予告なしに変更される場合があります。HP 製品とサービスに対する保証は、それらに付属する保証書に記載された事項に限られます。ここに記載した内容は一切追加の保証を意味するものではありません。ここに記載された技術的あるいは編集上の誤り、省略に対して、HP はいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

5982-7030EE, 2004 年 6 月